



平成30年災一級河川八戸川  
河川災害関連事業

島根県

# 江の川水系八戸川災害の概要

## (発災の状況)

- ・平成30年 7月5日～7月8日の梅雨前線豪雨により、江の川上流の広島県では、大雨特別警報が発表されるなど豪雨に見舞われました。
- ・下流に位置する島根県江津市桜江町川戸～小田地内では江の川の水位上昇に伴い、一級河川八戸川の水位が上昇し、堤防決壊や堤防越水が発生しました。
- ・これにより約100haの範囲の浸水、床上浸水39戸、床下浸水14戸の家屋被害や主要地方道桜江金城線の30時間以上におよぶ通行止めなど地域に多大な被害が生じたため、「越水させない原形復旧」を適用した河川災害関連事業により堤防を嵩上げし、再度災害の防止を図るものです。

# 位置図・流域図

河川名：一級河川江の川水系八戸川

位置：島根県江津市桜江町  
ごうつしさくらえちょう

一級河川江の川は、島根県の中に位置する直轄管理河川であり、流域は広島県を跨ぐ流域面積3,900km<sup>2</sup>の中国地方最大の河川です。八戸川は江津市桜江町（ごうつしさくらえちょう）において江の川に合流する流域面積300km<sup>2</sup>の江の川の一次支川です。

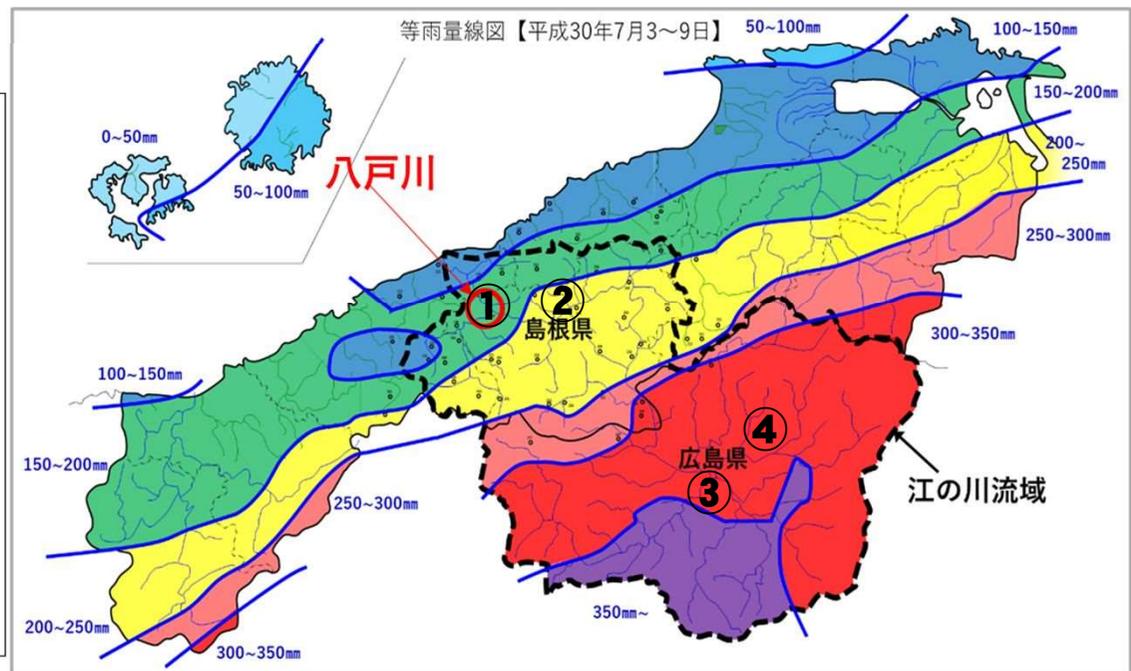
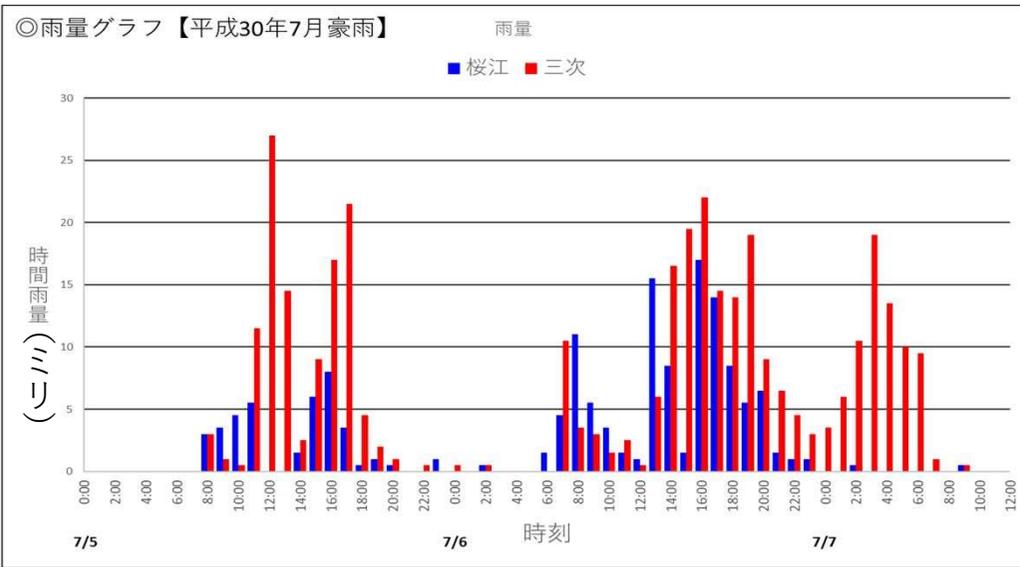
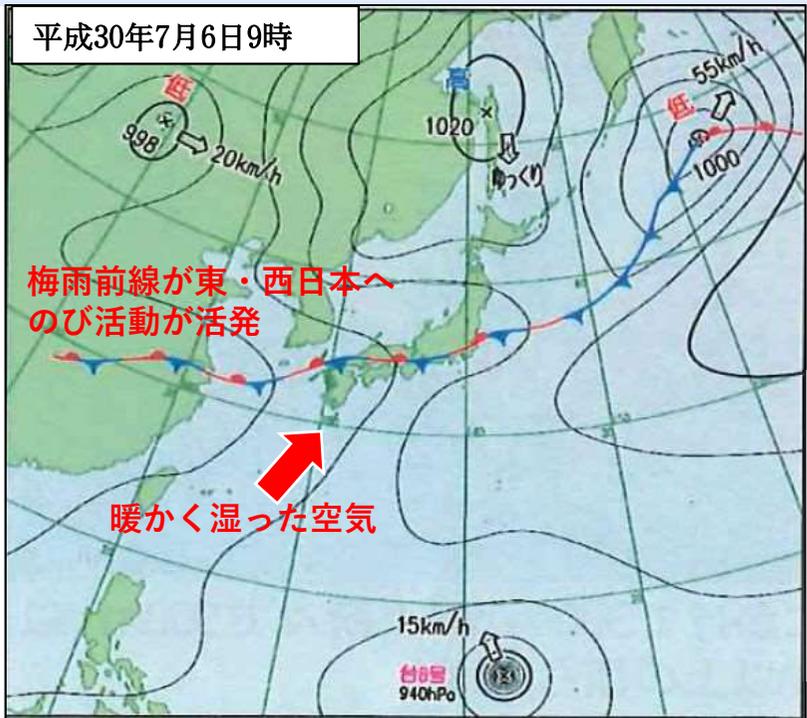


# 気象の状況

【平成30年7月5日から7月8日にかけての梅雨前線豪雨】  
 7/5から7/7にかけて停滞した梅雨前線に向かって、西日本を中心に暖かく湿った空気が流れ込み、江の川上流の広島県では、大雨特別警報が発表されるなど、総雨量350~400mmの豪雨に見舞われました。

## 【気象庁観測所雨量】

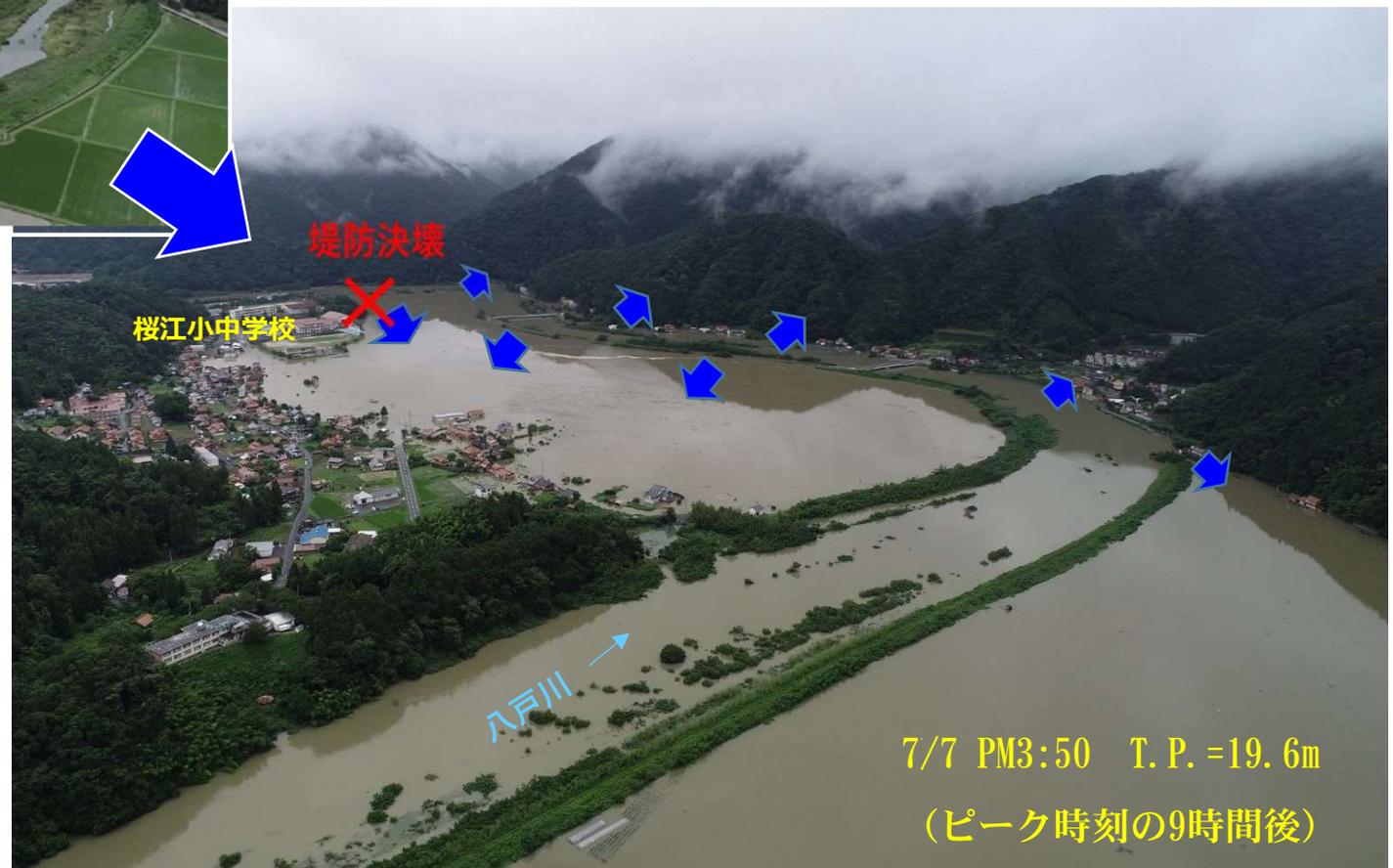
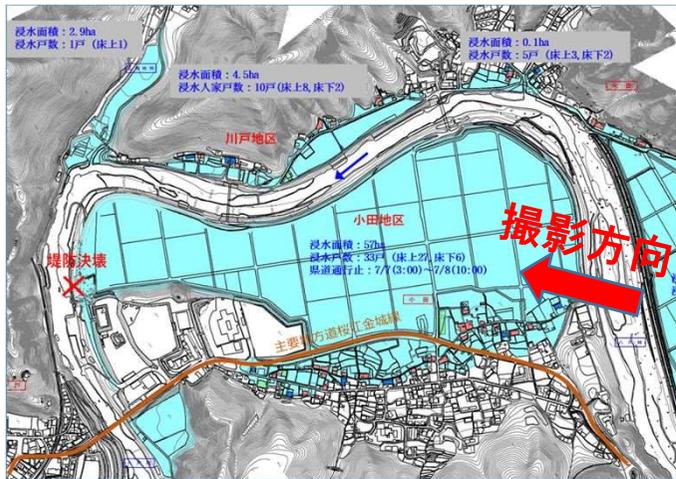
- ① 桜江観測所：総雨量 149ミリ(7/5 7時~7/7 9時)、最大時間雨量 21ミリ
- ② 川本観測所：総雨量 233ミリ(7/5 6時~7/7 5時)、最大時間雨量 39ミリ
- ③ 三次観測所：総雨量 346ミリ(7/5 7時~7/7 9時)、最大時間雨量 34.5ミリ
- ④ 庄原観測所：総雨量 384ミリ(7/5 2時~7/7 18時)、最大時間雨量 36.5ミリ



# 越水状況

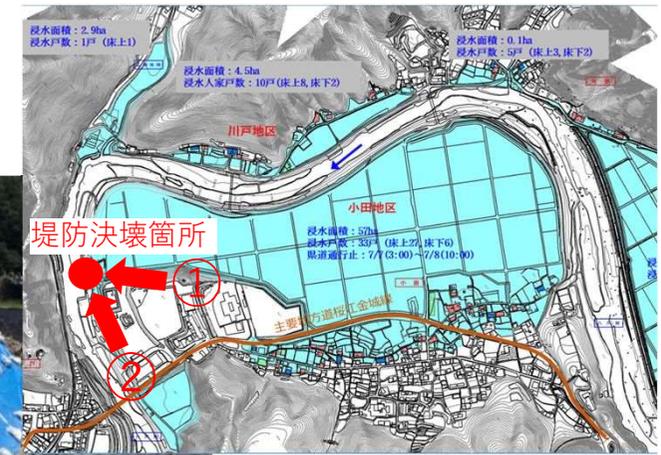
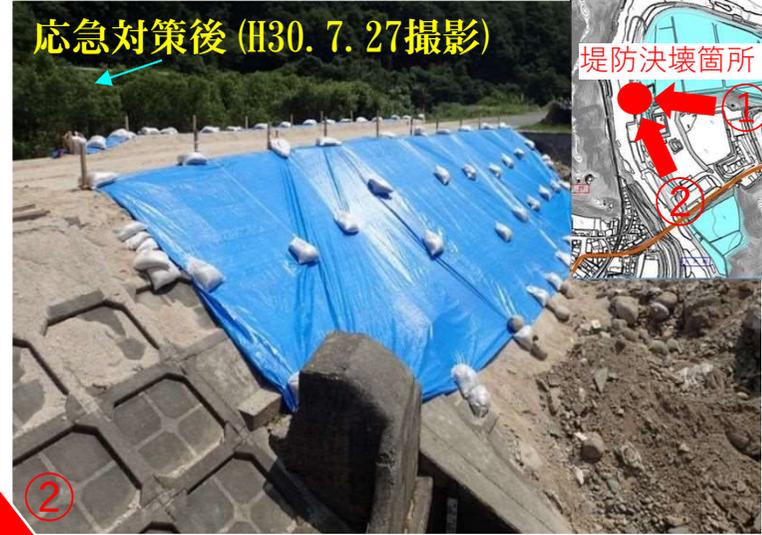


広島県側の豪雨により、八戸川の水位は、T.P.=20.39mまで上昇しました。（7日6時30分）  
 写真は、7日15時50分のT.P.=19.60mの時（最高水位より80cm下がり）の状況です。  
 堤防越水により、全体で約100haが浸水しました。  
 また、堤防の最も低い箇所では、堤防決壊が発生しました。



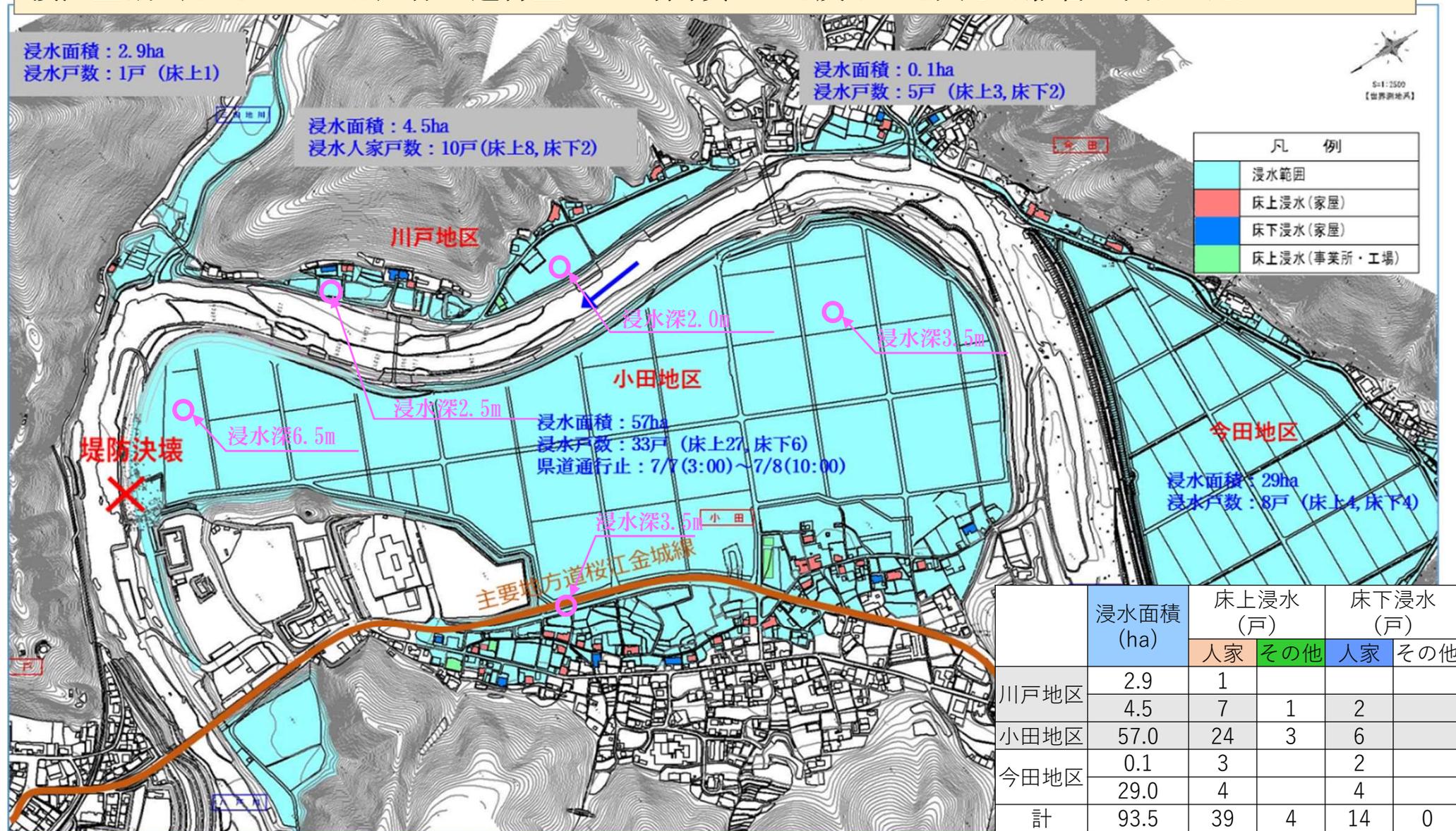
# 施設被害

堤防越水により発生した堤防決壊箇所では、大型土嚢及び盛土による応急工事を早期に実施しました。

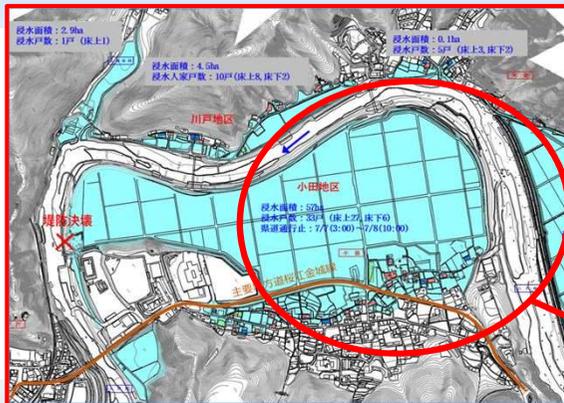


# 一般被害（全体）

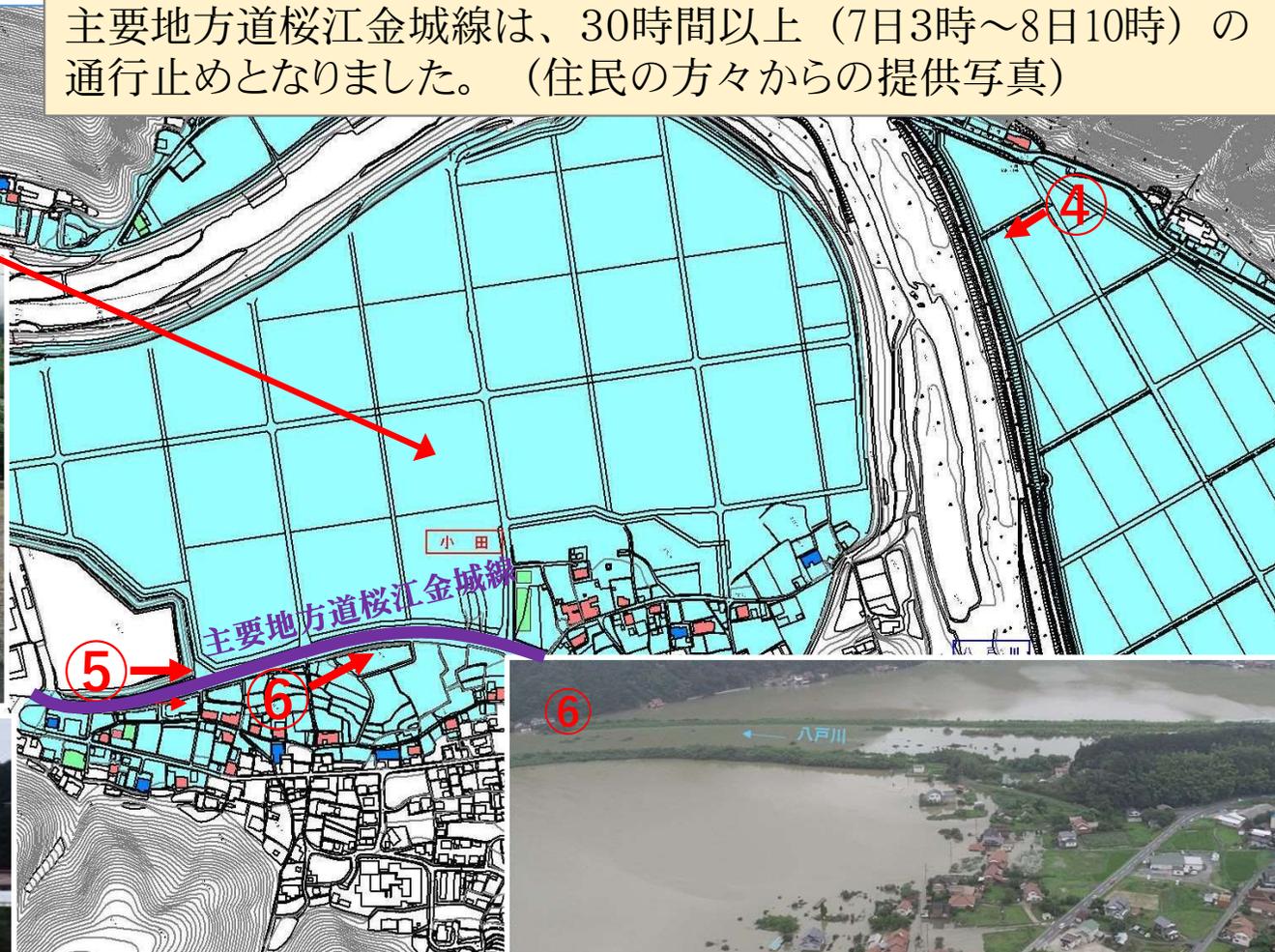
堤防越水により、浸水面積93.5ha、床上43戸、床下14戸の浸水被害が発生したほか、主要地方道桜江金城（さくらえかなぎ）線の通行止が30時間以上にも及ぶなど大きな影響が出ました。



# 一般被害 (道路)



写真は、7日15時頃の小田地区及び今田地区の浸水の状況です。主要地方道桜江金城線は、30時間以上（7日3時～8日10時）の通行止めとなりました。（住民の方々からの提供写真）



# 越水させない原形復旧を申請

(越水させない原形復旧とは)

- ・ 堤防の越水により甚大な被害が発生した場合に、堤防の被害が無くても堤防の効用を喪失したという施設被害を受けたもの（災害復旧）と見なす例外的な制度
- ・ 今回、堤防を越水した約1200m区間（堤防の決壊箇所を含む）について、「越水させない原形復旧」を適用した河川災害関連事業により、被災水位までの堤防嵩上げを実施します。

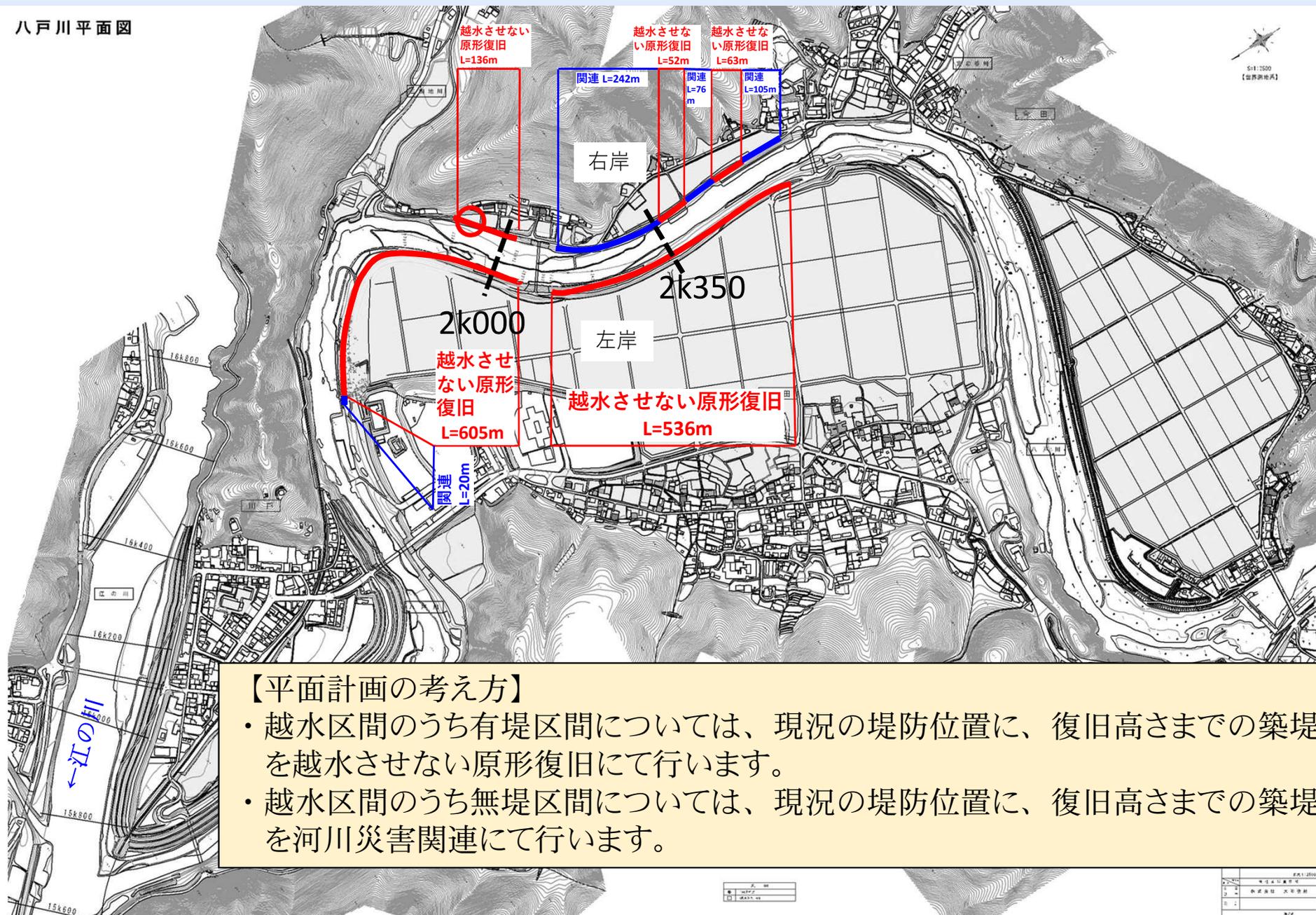
○施工箇所：江津市桜江町川戸～小田

○延 長：左岸 L=1,161m、右岸=674m

○工事概要：築堤工 V=93,000m<sup>3</sup>

○事業期間：平成30年度～3ヶ年（予定）

八戸川平面図



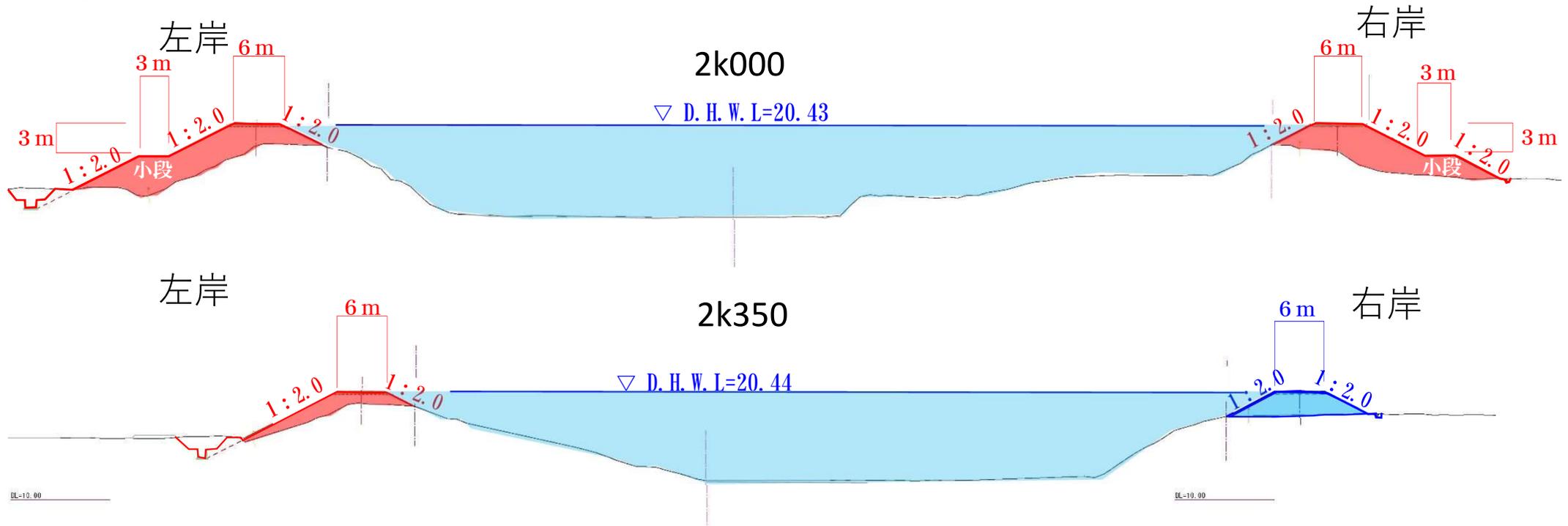
## 【平面計画の考え方】

- 越水区間のうち有堤区間については、現況の堤防位置に、復旧高さまでの築堤を越水させない原形復旧にて行います。
- 越水区間のうち無堤区間については、現況の堤防位置に、復旧高さまでの築堤を河川災害関連にて行います。

# 横断計画

赤：越水させない原形復旧

青：河川災害関連

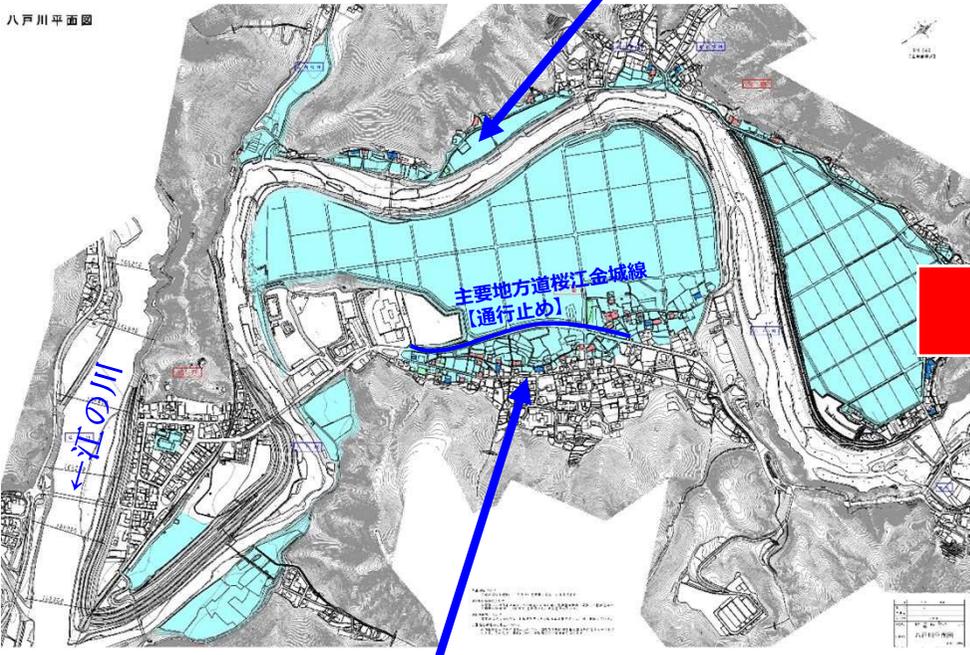


## 【横断計画について】

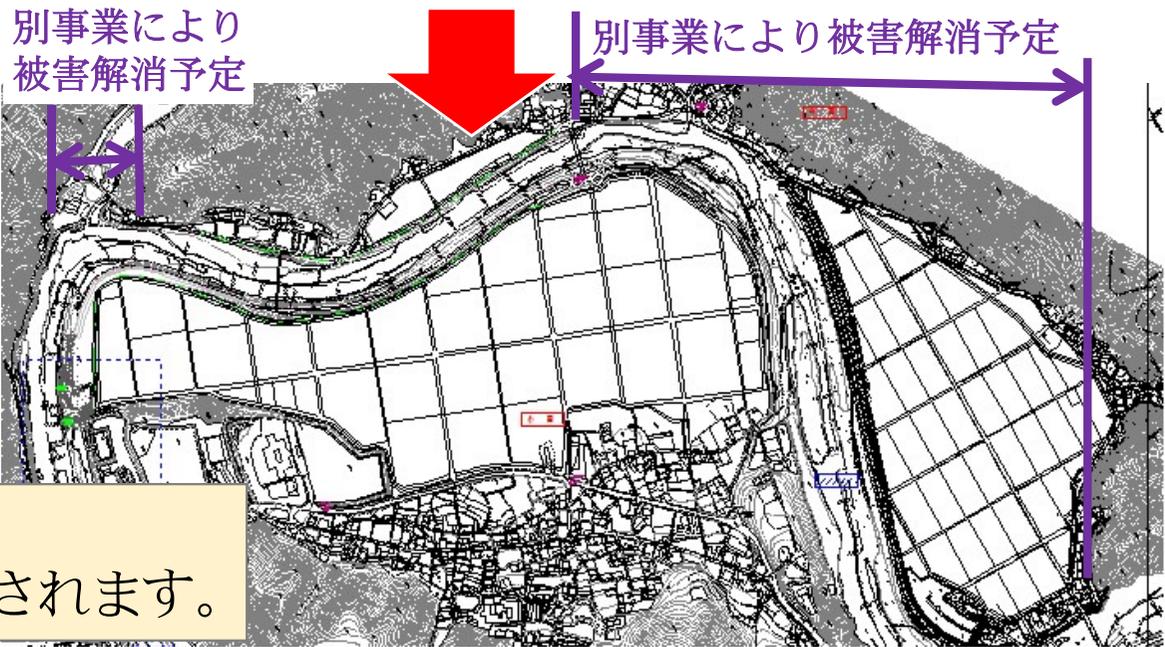
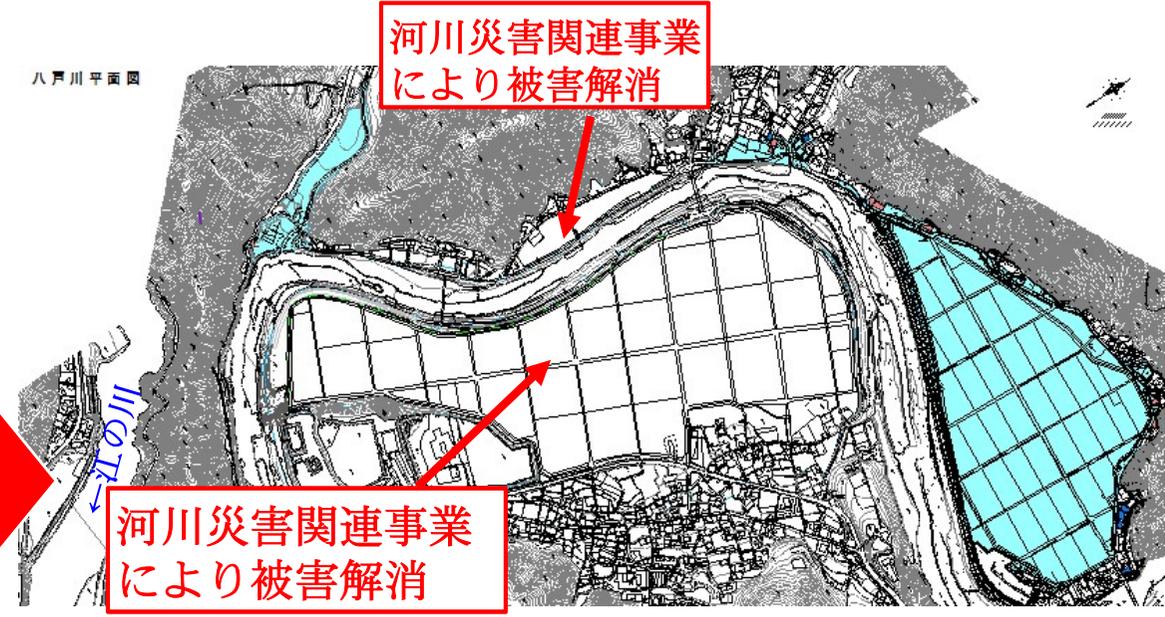
- 越水区間について、現況の堤防位置に、復旧高さ（D.H.W.L）までの築堤を行います。
- 左岸側で最大4.6m堤防が高くなります。
- 右岸側で最大4.5m堤防が高くなります。
- 浸透水による噴き出し（パイピング現象）のおそれがある箇所については、小段を設けます。

# 事業の効果

浸水面積：4.5ha  
 うち農地：2.5ha  
 浸水人家戸数：9戸



浸水面積：57ha  
 うち農地：36.5ha  
 浸水人家戸数：30戸  
 県道通行止：7/7(3:00)~7/8(10:00)



家屋浸水被害のあった箇所については、河川災害関連事業などにより被害が解消されます。

# 越水させない原形復旧事業について

平成30年12月21日、国土交通省より採択の通知を受けました



(今後の予定)

1. これから、用地測量や設計を進めていきます。
2. 用地測量完了後、用地買収を行います。
3. 随時、樋門及び築堤工事を進めていきます。



2021年3月の完了を目指します